



たろはな

一般社団法人
日本ボーイスカウト
静岡県連盟
〒420-0063
静岡市中央区田町1丁目70-1
(静岡県青少年会館内)



三島地区天皇陛下御即位祝賀パレード



全国防災キャラバン(イオン清水店)



パパママキッズ・ワンディキャンプ長泉



SKC(ソカクコーホーカレッジ)

今年も「そなえよつねに！」

CONTENTS

年頭のご挨拶	2	いつも元気だっ!ビーバーだより	12
静岡県連盟 連盟長 川勝平太氏		カブつうしん	12
静岡県連盟 理事長 村松武博氏		ボーイ通信	12
清水イオン防災キャンペーン	4	指導者だより	13
パパ・ママ・キッズ長泉	5	おめでとう友情章	14
しずおかベンチャーキャンプ	6	マスコミコーナー	15
組織拡充広報カレッジ	7	お知らせコーナー	16
三島地区ラリー&天皇陛下御即位奉祝祭	8	・講習会開催のお知らせ	
ようこそ冒険と魔法の国へ!	9		
FMに出演しました	10		
第4回 若き指導者 島田第4回ベンチャー隊	11		

年頭所感



一般社団法人
日本ボーイスカウト静岡県連盟 連盟長

川 勝 平 太

明けましておめでとうございます。

一般社団法人 日本ボーイスカウト静岡県連盟の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

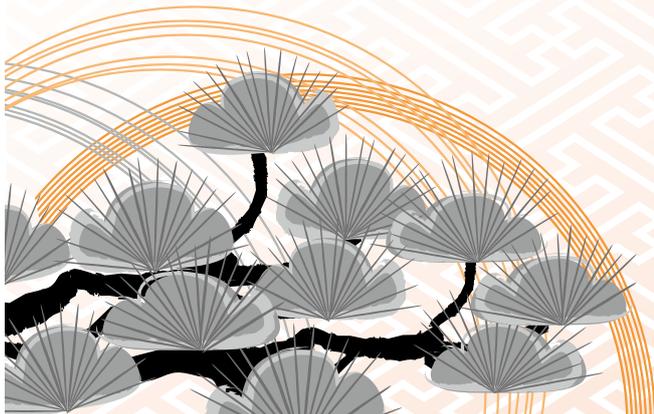
昨年7月から8月にかけて、アメリカ合衆国ウェストバージニア州で「新しい世界の扉を開こう」をテーマに第24回世界スカウトジャンボリーが開催され、146の国と地域から約4万2千人が集まりました。本県からも39人の中高生が参加し、約2週間のキャンプ生活を通じ、班員や同じ隊のスカウトたちと互いに支え合い、寝食を共にしながら、言葉や文化の違いを超えて交流を深めることができました。

静岡県連盟は、令和3年度に創立100周年を迎えます。記念すべき節目に向け、これまで先人が築き上げた歴史を振り返るとともに、地域社会の発展に貢献するスカウト運動を一層推進していくことが重要になると存じます。

本県は、「富国有徳」を県政運営の基本理念として掲げ、魅力ある地域づくりを行っています。その礎となるのは、個人として自立し、人との関わり合いを大切にしながら、よりよい社会づくりに参画し行動する、才徳兼備の「有徳の人」の育成です。

次世代を担う健全な青少年の育成を目的とするスカウト活動は、本県が目指す有徳の人づくりにつながるものです。本年も、皆様がそれぞれの立場で精力的な取組を展開されることを期待しています。

結びに、皆様の御健勝と御多幸を心からお祈り申し上げ、年頭の御挨拶といたします。



年頭所感



一般社団法人
日本ボーイスカウト静岡県連盟 理事長

村松 武博

あけましておめでとうございます。

スカウトの皆さん、スカウト活動を楽しんでいますか。集会に出席していますか。ボーイスカウトの活動には、進級や技能章への挑戦など、学校とは違った楽しみがいっぱい詰まっています。さあ、今年は何をしましょうか。そして何よりも、友だちがいっぱいできるといいですね。

成人指導者の皆さん、ご奉仕ありがとうございます。皆さんのご尽力にもかかわらず、スカウト人口の減少はなかなか止まりません。もちろん、団委員長を中心に、各団、各隊がスカウトや指導者の確保に努めていただかなくてはなりません。少人数の団、隊は、地区の合同隊集会など、スカウトが班や組を感じられる仕掛けを工夫し、その楽しみを体験できることが必要です。その実施には、時間も労力も必要となりますが、ぜひ、スカウトのためによりしくお願いします。

保護者の皆様、いつもご協力ありがとうございます。お子さんたちはスカウト活動を楽しんでいますか。家に帰って、楽しかったこと、つまらなかったことなど、話をしてくれますか。そんなお子さんの声を、ぜひ指導者にお伝えください。

ボーイスカウトの教育の特徴は、ビーバーから、カブ、ボーイ、ベンチャー、ローバーまで、年代に合わせたプログラムで、ほぼ同じメンバーの指導者がお子さんの成長をお世話していくという一貫性にあります。どこか一部分を体験するより、ずっと同じ仲間たちと成長していくところに意味があります。学業、部活、習い事などで中途退団するお子さんがいらっしゃいますが、ボーイスカウトが嫌いではなかったら、ぜひ続けていただきたいと思います。ボーイスカウトの経験は、必ずやお子さんの将来に有意義な活動だと確信しています。

さて、今年には東京オリンピック、パラリンピックの年です。ボーイスカウトは、第3回東海4県連盟合同野営大会(3TC)が岐阜県で開催されます。福島県では、障がいを持つスカウトのための第13回日本アグーナリーが開催されます。

そして、静岡県のボーイスカウトは、2021年に創立100周年を迎えます。一つ一つの活動の積み重ねが、100年の歴史を作っています。ボーイスカウトの発展のために、なお一層のご支援、ご協力をお願いします。

さあ、今年もみんなでボーイスカウト活動を楽しみましょう。





清水地区委員長 島山 幸喜

日時：9月15日(日)
場所：イオン清水店

奉仕者・清水地区 22 人・静岡地区 9 人

今年初めて開催しました。会場の関係で広いスペースが確保できなく、1階入口付近と2階催事場の2ヶ所で、清水地区と静岡地区で行いました。前週に台風15号により千葉県で災害が発生したので、多くの方が興味を示し参加してくれました。受付では、防災手帳やチラシやアンケート等渡し5コーナーを体験してもらいました。

- 1 **ブロック積ゲーム**: スチロール性ブロックを積み上げ倒れる時の怖さを体験してもらった。
- 2 **ロープワーク**: 防災に役立つ巻き結び・本結び・トートラインヒッチをVS・RSが説明しながら学んでもらった。
- 3 **防災キムス**: 防災品23種を1分間見て覚えて品名を書き、出来た数を回答してもらい防災グッズを学んだ。
- 4 **新聞スリッパ**: 身近にある新聞紙でスリッパを作った。
- 5 **ボーイスカウト紹介**: 活動写真・地区団ちらし・横断幕等で紹介した。

今年は、各地で台風の災害が発生し、防災の意識が高まっていますので、これからも役立つ情報や技能をいろんな機会に提供できればと思いました。



ママ パパ キッズ 長泉 ワンディ キャンプ

日:令和元年9月29日(日)
場所:割狐塚稻荷神社
沼駿地区 長泉第2団 ベンチャー隊 隊長 川島 一郎



前日までの天気予報に反して好天に恵まれた令和元年9月29日(日)、団主催のスカウト募集活動として「パパ・ママ・キッズ ワンディ キャンプ」を開催しました。このイベントは、年長から小学校3年生ぐらいまでの一般の子供とその保護者に対して、野外活動やキャンプ生活の一部を体験してもらうことで、その楽しさや重要性を知っていただき、募集につなげることを目的としています。

計画段階では参加者数を10家族と想定していましたが、申し込み多数により14家族が参加し、1日楽しく過ごしました。開会式の後、①各種ドームテントやタープテント(食堂フライ)等のテントサイト設営、②手作りソーセージ、ツイストパン作りとホットドッグでの野外料理及び昼食、③観察ゲーム、水平くもの巣、暗夜行路等の野外ゲームといった、スカウト活動ではお馴染みのプログラムを通して、ボーイスカウトの技?を体験していただきました。

安全面では、火や刃物を使う事から、都度、注意を促すオリエンテーションを行う、場合によっては、スタッフが代行し、それを見てもらうといった対策(計画段階でスタッフで議論の結果)を取り、一人のけが人も出すことなく終了する事ができました。また、緊急対応のし易さから、会場を、団本部及び団倉庫があり、普段から慣れ親しんだ活動拠点である「割狐塚稻荷神社」の境内としました。

今回、計画書や募集チラシ等の資料一式を浜松第30団より提供を受け、団や会場の実情に合わせてカスタマイズすることで、短時間に実施することができ、教育委員会の後援もスムーズに得る事ができました。

実施後の対応として、現在ビーバー隊の集会案内を送付し、勧誘に努めている段階で、募集活動としての成果は残念ながら上がっていません。これをどのように入隊につなげるかが、次年度への課題となっています。



第4回

しずおかベンチャーキャンプ(4SVC)

日:9月21日(土)~23日(月・祝) 場所:MOA大仁研修センター



ユースチーム静岡副議長 三島地区 三島第5団 木村 直音

今回の第4回しずおかベンチャーキャンプのテーマは「Paddle your own canoe!(自分のカヌーは自分で漕げ!)」ということで2泊3日の移動キャンプでした。ユースチーム静岡は各野営地での参加ベンチャースカウトへのプログラム提供をさせて頂きました。自分のカヌーを自分で漕ぐためにはやはりスキルを伴っていなければいけない、ということで今迄学んできたスキルの復習とともに正しい用途を理解してもらい、他の参加者と話し合い教え合うことによって理解を深めてもらうことを目標にしました。

私はナイフのメンテナンス方法についてのプログラムを担当しました。ナイフ・砥石の種類や刃物に関わる法令など、知識を身に付けることと、実際にナイフを研いでみるという実践も組み込んだプログラムでした。しかし私もナイフを研いだ経験が浅く、研ぎ方を教えることが出来ても見本を見せることが出来ませんでした。スキルを身に付けてもらうためにもスキルが必要、と教えられました。

「スカウト」でいられる残り少ない時間を有効に使い、学ぶ側から教える側になるという意識を持ち、改めてローバーリングをしていきたいと思いました。



浜松第10団 ベンチャー隊 石野 由朗

今回議長を務めさせていただきました。様々なプログラムを実施する中で、まだ自分には足りないところがあると実感しました。ロープワークでは基本なのに解らないものがあり、またコンパスのプログラムでは少し間違えたりと改めてしっかり身に着けておかなければならないと思いました。議長として自分の仕事がしっかり出来ていたのか判りませんが、初対面の方もいるのに協力を頂き無事に熟すことが出来て良かったです。このキャンプで学んだことをこれからのスカウト活動に生かしていきたいです。

浜松第12団 ベンチャー隊 山田慎之介

僕はこの4SVCで副議長を務めました。初めて会う人をまとめたり、連絡を伝えたりと様々な仕事がありましたが、みんなが協力してくれたのでしっかりと副議長を務めることが出来たと思います。このキャンプでは、コンパスやナイフ砥ぎ、ロープ結びなどを行いました。自分の出来ていなかった結びもありましたし、ナイフの研ぎ方も知れたので良かったです。またこのキャンプももっと雨対策をしないといけないな、と思いました。今後もこのキャンプでなまんだことを生かしてスカウト活動を行っていききたいと思います。



令和元年度 SKC(ソカクコーホーカレッジ)始まる!

<過去に学び、今日を知り、明日を創るSKC>

(旧団委員長・団委員セミナー)SKC講師:稲野 吉弘

西部ブロック:9月28日農村環境改善センター2F 中部ブロック:10月27日ホテルクレスト清水2F

東部ブロック:11月24日三島市民生涯学習センター3F



組織拡充広報委員

西尾 崇伸 氏



組織広報オブザーバー/SKC講師

稲野 吉弘 氏

登録数激減に歯止めを！登録数の減少はボーイスカウト運動の根幹を揺るがしています！

早急な対策が望まれ、多くの策が行なわれてきましたが依然として下降線をたどっています。原因はさまざまですが、一つには社会的認知度が低く、入団までには相当な労力と時間を必要としています、『ボーイスカウトの呼び名は知っているが何しているのか知らない』これを打破しなければなりません、また内部的には組織拡充や広報部門が脆弱で十分な成果を望めないことにあります、こうした危機感のなか『1個団ごとの組織体質の変革』こそがボーイスカウト運動の明日を創ると信じ、皆で学びました。

これからのボーイスカウト運動は教育部門だけでなく、組拡・広報など運営にかかわる部門と、車の両輪のようにバランスよく推進していくことが必須です。組織改革の方向性は『団委員会の活性化』こそが団を救います。特に募集や広報を担う組拡広報委員会を充実させていかねばなりません、静岡県下の登録数値の見方、募集最前線の今、ケーススタディ研究、団委員長の責務、中途退団防止への策、地域への情報接点づくり、募集企画の考え方、ボーイスカウトの広報表現、広報の基本、メディア対応の仕方、SNSへの対応など、学びは広範囲に及びました。そして2022年登録数値目標への具体策策定、地区毎に現状を議論し、打開策を見出し発表しました。参加者全員から意見をもらいさらなる策に磨きをかけました。

募集切り口ヒント:皆さんご承知の通り日本列島は過酷な自然災害が多発しています、こんな時こそわが子にたくましくなる『そなえよつねにのボーイスカウト』を訴求してみてはいかがでしょうか。

三島地区ウォークラリー & 天皇陛下御即位奉祝

日時: 10月27日(日) 三島第14団 伊藤 伸生



【三島地区ウォークラリー】

三島、函南、伊豆の国の各団・隊からスカウト229名が参加しました。三嶋大社をスタート、白滝公園、みしま未来研究所などをチェックポイントに様々なゲーム・技能を試す課題に挑戦しながらゴールを目指しました。



【天皇陛下御即位奉祝】

天皇陛下の即位を祝う奉祝パレード(提灯行列)が開かれ、三嶋大社から楽寿園駅前入園口まで練り歩きました。ボーイスカウト三島地区では横断幕持ち、プラカード持ち及びパレードに参加しました。記念式典では三島第3団ベンチャースカウトの松浦聡次郎さんが大きく「宣言」されました。



「ようこそ冒険と魔法の国へ！」

浜松地区委員長 渋谷 茂光

日時:11月10日(日)

場所:浜松ガーデンパーク



📍 スカウト 顕彰者



📍 的当て



📍 24WSJ 報告



📍 応急救護

可愛い「ウルトラビーバー」、元気な「スーパーカブ」、成長目覚ましい「菊」、遅い「隼」、頼もしい「富士」。スカウトの一年間の頑張りを地区のみんなでお祝いが出来ました。

一年に一度くらいは地区のみんなで遊ぼう！天気にも恵まれて沢山の一般体験者にもお集まりいただきドキドキわくわく楽しんでいただけました。

年に一度の地区大会、来年は500名以上を目指して頑張りましょう！！



📍 暗夜行路



📍 家康くん

FMラジオに 出演しました!



世界スカウトジャンボリーに参加したことで、三島市のFMラジオ「ボイスキュー」に出演することになりました。

残念ながらアナウンサーの方はボーイスカウト経験者とボーイスカウトを知らない方でした。視聴者の方も全員がボーイスカウトを知っているわけではないので、どれだけ簡単に『世界ジャンボリーで経験して学んだこと』を文章にするかがとても難しかったです。あまり上手く話せた実感はありませんでしたが、一緒にいた方のフォローもありなんとか話し終えることができました。

24WSJに参加して経験したこと学んだことはとても沢山あり、とても数分では話せきれません。だから、自分のアドリブ力が試された良い機会だと思いました。ラジオ番組に出演して改めて『24WSJに参加した』ということを実感しました。私、とても素晴らしい経験・体験をアメリカでしてきたんだな、と思いました。このラジオ出演は、普段よりボーイスカウトについて考え、ボーイスカウトの偉大さを感じる良い機会になりました。

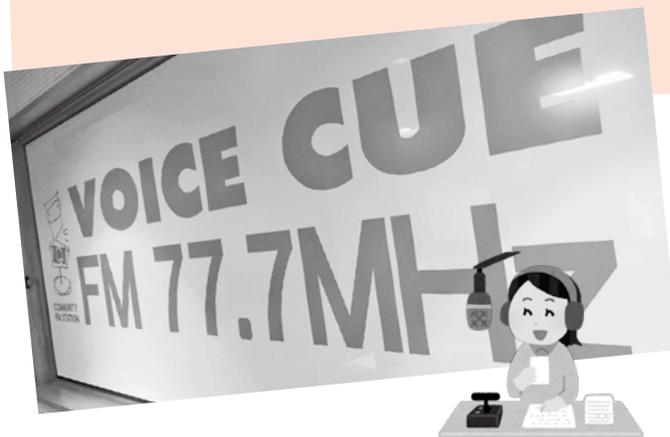
三島地区 三島第5団ボーイ隊 酒井 舞華

地元のラジオ局、「ボイスキューFMみしま・かなみ」にて、今年の夏アメリカで行われた第24回世界スカウトジャンボリーの報告をさせていただきました。このようにラジオで報告させていただくことは初めてで、私はとても緊張しましたが、リラックスして話せました。思い出を話していて、パーソナリティーの方に「スゴイ」と言われたのですが、スカウトは普通の人から見てスゴイことができるんだと思いました。

世界スカウトジャンボリーに行く事は決して簡単なことではありませんでした。しかし、ジャンボリーで得られるものの価値は知りません。だからこそ後輩スカウトにもジャンボリーを経験してほしいと思います。ベンチャースカウトになり、自分のやりたいことをプロジェクトにしようとしていました。しかしスカウト活動が世間に知られることも活動の中で大切なものだと考えるようになりました。今までの経験を活かして更なる高みを目指して精進していきます。

三島地区 三島第5団ボーイ隊

飯田 哲也



第4回「若き指導者」



島田第6団 ベンチャー隊副長
土屋実奈子



「私にとってのボーイスカウト」

私には、目標にしていた隊長がいます。その隊長は地区でも有名な鬼隊長でした。ボーイ隊に昇進してすぐの記憶はとにかく叱られていた事。最初はとてもその隊長が怖く「なんで私達ばかりこんなに叱られているのだろう」と思っていたものです。

そんな時、私はキャンプ中初めて隊長に褒められました。幼い頃の私はそれがとにかく嬉しく、隊長に褒められたいが為に色々な事を考え、実行していきました。それからはボーイスカウト活動が見違えるほど楽しくなり、自然と周りのスカウト達との垣根もなくなっていきました。その時に初めて叱る事の裏側にある優しさを知りました。「叱る」という事はスカウトの為を思っている事。つまり、少し形が異なる愛情なのだと気づきました。

しかし、ローバースカウトに進級して少し経ってからその隊長との急なお別れがやってきました。隊長のような指導者になりたいと思い色々な活動に参加してきましたが、あまりにも急すぎるお別れに私の思考が追いつく訳もなく、只々茫然としていました。そんな中私の支えになったのはかけがえない仲間と後輩のスカウト達でした。

自分が隊長に教えてもらった事を今度は私がスカウト達に教える番だと周りの人達のおかげで気がつく事ができました。その隊長には程遠いですが仲間や後輩スカウト達に支えられながら、また頑張っていこうと思います。

私の目標は優しさを持った鬼隊長になる事です。





いつも元気だっ! ビーバーだより

うんどうかいをやったよ

磐田地区 磐田第7団ビーバー隊 おおば せな

ボーイスカウトでうんどうかいをしました。

パンくいきょうそうで4いになったけれど、一ばんたのしかったです。かんをつるきょうそうがむずかしかったです。かんのあなが小さかったのでむずかしかったです。ひもでサッカーをころがすがたいへんでした。ながなわがとくいなのでじょうずにできました。

ちがうたいのビーバーさんとおなじくみになって、さいしょはきんちようしたけどいっしょにおべんとうをたべてなかよくなれました。



カブつうしん CUB SCOUT

初めてのキャンプ

清水地区 興津第1団カブ隊 中村 俊翔

カブに入隊してあっという間に1年が経ちました。僕がカブ隊に入った頃からとても楽しみにしていたキャンプが9月に2回ありました。

清水区興津の宗像神社で行った1泊2日の初めてのキャンプでは、ぼくの大好きなカレーを作りました。包丁を使って料理を作ることは今までなかったので指を切りそうになったりしてドキドキしたけれど、隊長が包丁の使い方を教えてくれたので楽しくつくることが出来ました。出来上がったカレーはとてもおいしくて、今度は家族に作ってあげたいなと思いました。

2回目は長泉町の桃沢野外活動センターで2泊3日のキャンプをしました。みんなで川の底に落ちている石を集めて、それを重ねて川の流れを弱くしてダムを造ったり、ウォークラリーで山の上の神社まで行ったりしてとても楽しかったです。僕はこの2回のキャンプでとてもたくさんのことを学ぶことが出来ました。



ボーイ通信 BOY SCOUT

班長になって

三島地区 三島第5団 ボーイ隊 青木 美濤

11月2日から4日まで、班長になってから最初のキャンプ、新入班員歓迎野営がありました。

元々次長だった私は、班長の代理をすることがたくさんありましたが、入ってきたばかりの班員に指示をすることは難しかったです。元々いた班員は、一度の指示でやることを理解してくれただけで、新入班員は何をやればいいのか分からなく、2回指示をしなければいけないことがたくさんあり、とても大変でした。ですが、3日目になると新入班員も慣れてきて、私も相手の立場になって指示をするようになり、はやく動けるようになりました。

今回のキャンプでは学んだことがたくさんありました。班員と協力することも大切ですが、班長同士が協力することも大切だと私は思います。このキャンプを通して、学んだことをこれからの活動に活かしていけたらいいなと思いました。



コトバはなくとも

三島地区 三島第5団 ボーイ隊 酒井 舞華

第24回世界ジャンボリーに参加しました。私は英語が苦手なため楽しむか不安でした。しかし、会場では仲間に英語ができる人がいたということもありましたが、私の長所である『その場に対応するノリ』がとても役立ちました。一緒に歌って踊って騒ぐだけで、言語は通じずとも仲良くなれることを身をもって感じました。様々な人種が同じかいとおきてで繋がっているボーイスカウトは偉大だなと思いました。



キャンプの思い出

富士宮地区 富士宮第21団 ボーイ隊 河西 春

今年の夏のキャンプ、一番の思い出は「流しそうめん」です。竹で流し台から作りました。巻き結び、はさみ結びなどを活用し台を作り、竹を半分に割ったものを台の上に乗せ、固定して完成です。

竹を切り出してつゆを入れるコップも作りました。時間はかかりましたが、これぞ「流しそうめん」といった感じの台ができました。

そうめんをボウルいっぱいを作り、いざ実食。普段とは違う食べ方で、とても楽しく食べることができました。

流し台から作るのは初めてで、貴重な体験となりました。こういった体験ができるのもボーイスカウトだからだと思います。

これからも様々な体験を通して、自分の知らないこと、色々な場面で役立つことを学んでいきたいです。



秋のキャンプ

島田地区 島田第2団 ボーイ隊 山田 凌輔

10月ぼくたちは1泊2日のキャンプをしました。テントのかわりにダンボールで作った家に一晚泊しました。作るときに全員が自分で考え行動していました。どうすればよいか分からないときなどは意見を出し合い協力し作ることができとても嬉しかった。ダンボールなので柔らかくて屋根が沈んでしまったときに自分1人だけでは解決できずみ

んなで案を出し合いながらなんとか解決できました。家が出来上がった時はとても嬉しく上手にできていたのでよかったです。

その日の夕食は、フライパンなどを使わずビニール袋とお湯だけで作りました。ビニール袋の中で材料と調味料を混ぜお湯で加熱するだけです。包丁だけしか使わずどれだけでできるか不安でしたが、お米はもちろんハンバーグやオムレツも作ることができ、とても美味しかったです。災害時水はとても大切で無駄に使えません。だから菜箸などの調理器具を洗う水を減らせるのでとてもいいアイデアだと思いました。次の日の朝食は、2個のアルミ缶をカマドとお釜にし、牛乳パックを燃料にしてお米を炊きました。上手に炊けて普段食べるお米となにも変わりませんでした。身近にあるものでお米を炊くことが出来ることに驚きました。空き缶と牛乳パックだけで炊けるので、もしもの時に備えて覚えておきたいと感じました。

このキャンプを通し班での絆がより深まりました。また、災害に対して「そなえよつねに」の精神がより身についたと思います。これだけで終わらずもともに備えていきたいです。



合同キャンプ

浜松東地区 浜松第17団 ポーイ隊 木下 紗那

今期初の野営は、17NSJで同じ隊になった近隣団との合同キャンプでした。電車とバスで乗り継ぎ、市外の公園に向かいました。今回は一時、班長がいなかったため次長の私が代理で班長を務めました。

一日目は、設営・コンパス・火おこし競争をやりました。設営では、ドームテント・立ちかまど・タープを建てました。少ない人数でしたが、進めることができました。途中から班長が加わり一気に動きが早くなったので、見習おうと思いました。設営後、バックベアリングを使ったゲームをやりました。バックベアリングは普段使わないので忘れていたこともありましたが、覚えていることを思い出しながら活動ができました。夜の火おこし競争では、枝や葉をマッチ二本を使って200mlのお湯をわかしました。わかした後は、他団のスカウトと楽しく話をしました。ジャンボリーで一緒に過ごしたスカウトはあまりいませんでしたが、また交流する時もあると思うので、仲良くしていきたいです。

二日目は、撤営と進歩をやりました。設営と同様スムーズに進めることができました。時間が余ったので、進歩をやりました。今回のキャンプでは、二級の項目が多かったのですが、忘れていた事を復習する良い機会になりました。それと班をまとめていく大変さも実感しました。今後は、班員の面倒をよく見て、スキルアップをしていきたいです。



指導者だより

イベント紹介

伊東地区 伊東第5団 カブ隊 副長 伊代野幸大

我が隊の11月の主なイベントを紹介します。

3日(祝)伊東地区の地区ラリーを開催。今年はノッティ

ングボードの作成に挑戦し、カブ隊は必修7種に、巻き結びを加えた計8種のなわ結びに挑戦しました。BS・VS隊は20種近いため、我々指導者は毎月のRTで復習し、スキルアップを心がけました。今後東部地区で予定されている隊指導者のスキルトレーニングに向けた良い勉強になりました。閉会式後にはN君の入隊式を行い、我がCS隊にまた一人仲間が増えました。

9日(日)恒例の矢筈山(ゲンコツ山)ハイクを実施。鬱蒼とした森の中にある「獣達の水場」や、道無き道を進み「トリカブトの花園」「山彦の崖」を通り、816mの山頂を目指しました。見晴し台から眼下に見える世界ジオパークの大室山の眺めは本当に絶景です。帰路は指令書に従い、来月のクリスマス会で使うリースの材料(木のつるや、木の実)集めと、宝探し(お菓子の詰め合わせ)をしてみんなで盛り上がりました。

再来週は月の輪キャンプも予定されており、我が隊の活動はまだまだ元気に続きます。

これからも安全に留意して、スカウト活動を精一杯、全力で支援していきます。

～本日11/10(日)天皇陛下の祝賀御列の儀でのカブスカウトの活躍をTVで観ながら～



自慢のスカウト達

富士地区 富士第8団 カブ隊 副長 倉田 晋輔

9月21日(土)の夏も終盤に差し掛かり、家によっては稲穂を干すために使用する稲掛けを準備するような時期の夜に、富士第8団のスカウト達は手持ち花火を行いました。特に隊長たちが指示したわけでもなく、スカウトたちは花火を平等に分けるべく、一つの班は話し合いを、一つの班はじゃんけんをしていました。花火が行き渡った後、スカウトたちは隊長から火の扱いについて教わるとともに、順番を守りながら火をつけ始めます。一つまた一つと火が灯る度に、花火に照らされ、スカウトたちの楽しげな表情が溢れていきました。締めは線香花火です。大人の楽しみ方をするのであれば静かな雰囲気味わい夏終盤の情緒をかみしめますが、さすがはスカウトたち。線香花火を応援します。「がんばれー!」「まだ落ちるなー!」そんな声が静かな夜の住宅街に響きます。守ることを守り、楽しむ時に楽しむことができるこの子たちは、きっと素敵な大人になると思います。



富士環境フェア

富士地区 組広報委員 松井 工

令和元年11月30日(土)に富士市主催の「富士環境フェア」に富士地区としてブースを設け、スカウト活動のPRと広報を兼ねて出展しました。

「富士市環境フェア」は富士市COOL CHOICEとして地球温暖化防止活動推進をテーマに、県民運動「ふじのくにCOOLチャレンジ」や国連サミットで採択された「SDGs」(持続可能な開発目標)などの啓発を目標としたイベン

トです。

スカウトには、環境問題への関心を持ってもらうことや、一般の参加者にはスカウト活動を知ってもらい、関心を持ってもらいたいことから参加しています。

ボーイスカウト地区ブースでは、食堂で廃棄される割箸や山林での竹林増加による竹材を使った工作で一般参加の子供たちへの遊びを提供し、スカウト活動の楽しさをPRして募集のパンフレットやアンケートを行いました。

当日の来場者数は、富士市環境総務課の発表では12,000人とのことでした。



そうだ！ 団研、行こう。

浜松地区 浜松第1団 団委員長 小林 博之



2004年、息子がうさぎスカウトとしてカブ隊に入団した。翌年、少しでもお手伝いしたいとの想いから団委員長登録し、早くも15年が経とうとしている。その間に、カブ隊長やボーイ隊長も経験させていただき、そしてこの5月、団委員長を拝命することになった。

さて、立場を変えて当団を見ると、どのような団なのだろうか？隊長は全員ウッドバッジャーで、地区TT、県連TTを兼務しており、指導力は問題ない。浜松地区唯一のLTもいて、退団者も少ない。体験会も毎回希望者が定員を超えて、お詫びをしている状況で、企画力も問題なさそうだ。

一方、隊指導者が様々な地区役員も兼務して忙しく、団委員、副長が不足し、組織としての疲弊を感じる。

ビーバー隊長の後任も決まらず、兼務のまま暗夜航路へと漕ぎ出した新任団委員長だが、65年の歴史を持つこの団を自分の代で終わらせることはしたくない。人的資源を増やし、各隊が組織として機能するよう人財を活用していくためには、どのようにしていけばいいのだろうか？

あ、そうか！ 団運営研修所へ行けばいいのか！！



合同研修会

静岡県連事務局長 瀧島 三郎

12月7日 MOA 大仁研修センターにて合同研修会が行われました。千葉県連盟八千代第2団片寄朗団委員長に「地域と共にスカウトを育てる」というテーマで講演をいただきました。

団運営の先進的事例として多くの取り組みを紹介いただき、今後は県内の各団で地域に合わせた取り組みが広がることと思います！

その後、小林県連盟コミッショナーから来年度の県コミ方針の説明があり、来年度の方向性について理解を深めました。

2020年も県連盟一丸となり、スカウト運動をさらに盛り上げて行きましょう！

友情章

おめでとう!! 16名の仲間が友情章を授与されました。

「友情章」は、君の友達に「スカウトになろうよ!」と言って、友達がスカウトに入るともらえる章です。

記念品はネームプレートがもらえるよ。次は君が友達を紹介して「友情章」をゲットしよう!

令和元年11月度「友情章」顕彰者名簿

組織拡充・広報委員会

氏名	地区	所属	氏名	地区	所属
神田 凌玖	浜松	浜名第1団 BVS隊	緒方 蒼真	清水	清水第7団 BVS隊
和泉 太一	島田	島田第5団 C S隊	久保田 龍正	三島	大仁第1団 BVS隊
桑名 由寿	沼津	沼津第19団 C S隊	小森 結人	三島	大仁第1団 BVS隊
山崎 陽太	沼津	沼津第19団 BVS隊	守野 光亮	三島	大仁第1団 BVS隊
加藤 発	沼津	沼津第19団 C S隊	杉山 和輝	島田	金谷第3団 C S隊
西岡 都	志太	焼津第5団 C S隊	杉山 美和	島田	金谷第3団 BVS隊
衛藤 彩菜	志太	焼津第5団 C S隊	木内 穰太郎	富士	富士第9団 C S隊
嶋津 聖香	浜松	浜名第1団 C S隊	寺井 奏	清水	清水第7団 BVS隊



マスコミコーナー

マスコミ(新聞・雑誌)に掲載された“スカウト活動の記事”を紹介します。



BS伊東
難民へ古着300着
 ユニクロと支援PJに参加

日本赤十字社(以下、赤十字)の「ユニクロと支援PJ」に参加し、伊豆半島の難民キャンプに古着300着を届けた。ユニクロは、ユニクロの古着を回収し、それを支援するプロジェクトとして、伊豆半島の難民キャンプに古着を届けた。ユニクロは、ユニクロの古着を回収し、それを支援するプロジェクトとして、伊豆半島の難民キャンプに古着を届けた。

令和元年10月21日(月) 伊豆新聞 掲載



令和元年10月8日(火) 静岡新聞 掲載

天皇陛下の即位を祝うパレードに3000人—三島
2019年10月28日 18時27分



天皇陛下の即位を祝う奉祝パレード(ちようちん)行列が27日、三島市内で開かれた。地元各種団体の関係者をはじめ市民ら約3千人が参加、三島大社から家形町入り口まで約3キロを凱歌などを響けながら進んだ。

三島商工会議所や市自治会連合会、JA三島南南などをつくる「天皇陛下即位奉祝委員会」(会長=稲田精治・同商議所会議員)が主催した。

「国家の平和と国民の幸福を」三島大社で行われた記念式典ではボーイスカウト三島地区の松浦聡次郎さん(早稲田大農等学院1年)の一言に続いて、稲田会長が「国家の平和と国民の幸福を願って皆さんとパレードをしたい」と呼び掛けた。

パレードは地元のしざり保存会などの威勢のいい笛や太鼓の演奏が響きく中で、参加者は提灯と国旗を手に市内を歩き、多くの人が沿道で見守った。

令和元年10月28日(月) 伊豆新聞 掲載



229人ウオークラリー
BS三島市内ウオークラリーも
三島市内ウオークラリーも、ボーイスカウト三島地区のウオークラリーが、三島市内ウオークラリーとして行われた。ウオークラリーは、ボーイスカウトの伝統的な活動の一つで、参加者は、ウオークラリーの途中、様々な課題をクリアしていく。ウオークラリーは、ボーイスカウトの伝統的な活動の一つで、参加者は、ウオークラリーの途中、様々な課題をクリアしていく。

令和元年10月28日(月) 伊豆日々新聞 掲載

令和元年11月21日(木) 富士山新報 掲載

各地区・団で、新聞又は雑誌などに掲載された記事がありましたらご応募下さい。詳しくは県連事務局まで



カブスカウト運動会
ボーイ10個団から大集合
令和元年10月30日(水) 富士ニュース 掲載

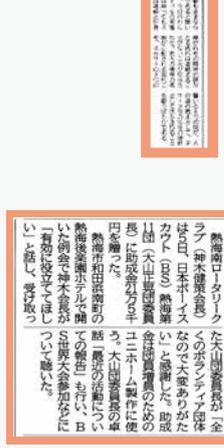
令和元年12月10日(火) 静岡新聞 掲載



令和元年12月10日(火) 静岡新聞 掲載



福祉支援委員会
 街頭募金を委託
 日本ボーイスカウト
 浜松第15団(在籍団員約100名)が、静岡県内各地の街頭募金を委託し、街頭募金を委託した。街頭募金を委託した。街頭募金を委託した。街頭募金を委託した。



BS11団に助成金
熱海RCが21万円
熱海RCが21万円をBS11団に助成金として提供した。熱海RCは、熱海地区のボーイスカウト活動を支援するために、BS11団に助成金を提供した。

令和元年12月6日(金) 熱海新聞 掲載

おしらせコーナー

ボーイスカウト講習会 静岡第604期

- 日 時: 令和2年1月26日(日)
- 場 所: 裾野市東地区コミュニティセンター
- 申込み: 1月12日(日)まで

ボーイスカウト講習会 静岡第605期

- 日 時: 令和2年3月8日(日)
- 場 所: 富士北まちづくりセンター
- 申込み: 2月24日(月・振替休日)まで

ボーイスカウト講習会 静岡第606期

- 日 時: 令和2年3月15日(日)
- 場 所: 静岡県青少年会館
- 申込み: 3月1日(日)まで

発達障がい児 スカウティング研修会

- 日 時: 令和2年2月9日(日)
- 場 所: 静岡県青少年会館
- 講 師: 荒井久美子先生
(現場で発達障がい児の指導を行っています。)
焼津第1団 ベンチャー隊副長
- 申込み: 1月31日(金)まで

第2回ベンチャーフォーラム・ 海外派遣報告会

- 日 時: 令和2年3月8日(日)
・午前: スカウトフォーラム
・午後: 海外派遣スカウト報告会
- 場 所: 静岡県青少年会館
2階 大ホール
- 申込み: 2月23日(日)まで

県連盟トレーニングチーム 養成研修会

- 日 時: 令和2年3月14日(土)・
15日(日)
- 場 所: 静岡県青少年会館

ボーイスカウトへの お問い合わせ・入隊希望は

ボーイスカウト静岡県連盟事務局
(☎054-255-6185)までご連絡下さい

ホームページ <http://bs-shizuoka.com>

Facebook <https://www.facebook.com/ShizuokaScoutCouncil/>もご覧下さい。

お詫び

※たちばな157号記事の中で2名氏名の誤記がありました。謹んでお詫び申し上げます。以下の通り訂正させていただきます。

5頁/ユースチーム議長 宮路飛鳥 ⇒ 宮地飛鳥 10頁/金谷第3団 鴨島陽友路 ⇒ 鳴嶋陽友路

編 集 日 記

恒例になりました写真コンテストを今年度も開催致します。躍動感ある写真の投稿を募集しております。また今年度は各団や隊で制作した「募集チラシ」のコンテストも併せて開催致します。詳細につきましては県連事務局にお問合せ下さい。多くの応募をお待ちしております。

広報「たちばな」編集部 杉山文朗

広 報 “たちばな” 2020 年 1 月
発 行 所 一般社団法人 日本ボーイスカウト静岡県連盟
〒420-0068 静岡県静岡市葵区田町 1-70-1
県青少年会館内
TEL.054-255-6185 FAX.054-255-6186
<http://bs-shizuoka.com>
編集責任者 組織拡充・広報委員長 川島 一郎
刷 三富印刷株式会社
静岡県浜松市東区上新屋町 30-1 TEL.053-467-4678
発行部数 4,560 部